

購入のポイント

3冊の違い比較一覧表

書籍名	執筆者	主な使用目的	解説形式／特筆事項
①『フローでわかる 相続土地国庫帰属制 度 一審査担当者から みた申請手続・判断 のポイント』	法務局支局長 (元審査室長)	審査側の考え方 や運用プロセス の理解による不 承認・却下の回 避	フローチャート＋解 説（66件）：審査担 当者が実際に見てい る実務の「機微」ま で丁寧に解きほぐし て解説。
②『政省令・施行通 達対応 相続土地国庫帰属 制度 承認申請の手引』	弁護士	制度全体の概要 および基本ルー ルの体系的な理 解	Q&A形式（55件）： 制度の基本ルールか ら実務上の疑問点を 幅広くカバー。
③『これで使える！ 相続土地国庫帰属 制度 申請実務マ ニュアル』	土業合同チーム (弁護士・司法 書士・土地家 屋調査士・ 行政書士)	申請に向けた事 前準備、土地の 類型別（5類 型）における現 場対応の習得	記述形式（土地の類 型別）：実務で直面 する個別状況ごとの 代替案（別の買い手 探しなど）について も詳しく言及。

3冊の合わせ買いのメリット



多角的な 実務理解

異なる特徴の実務書
を揃えることで、実
務上の見落としを防
ぎ、より確実な手続
をサポートします。



却下・不承認 リスクの低減

審査側の着眼点や具
体的な判断基準を事
前に把握することで、
申請の差戻しや不意
な手戻りを防ぎ、円
滑な進行が可能とな
ります。



遺言や 対応力の向上

遺言や遺産分割をは
じめ、多様な要因が
絡む相続土地案件に
おいても、確かな対
応力と説得力を持っ
て臨むための心強い
実務書です。